

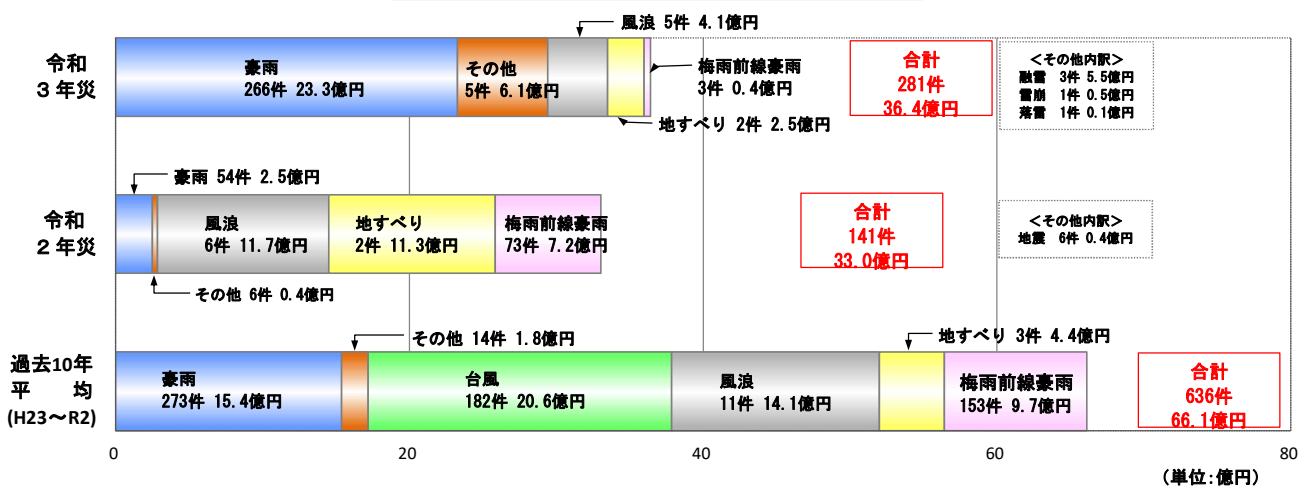
令和3年における北陸3県の災害復旧事業費(国庫補助対象)について ～前年災を上回るも件数では過去5番目、金額では過去6番目の少なさ～

北陸財務局が立会した北陸3県(富山県、石川県、福井県)内における令和3年発生災害復旧事業費は、281件、36億4千万円となり、統計で確認ができる昭和50年以降では、件数は5番目、金額は6番目に少ない年となりました。

令和3年発生災害を災害別にみると、特に7月及び8月に被害をもたらした豪雨が266件、23億3千万円と北陸3県全体の被害額の過半を占めるものとなりました。

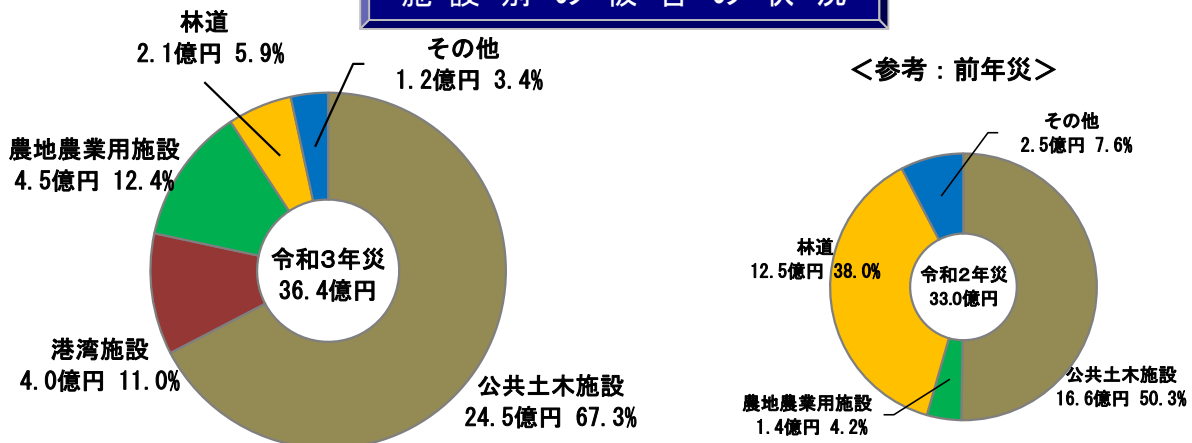
また、施設別にみると、道路や河川護岸等の公共土木施設が110件、24億5千万円、港湾施設が2件、4億円、農地農業用施設が133件、4億5千万円、林道が26件、2億1千万円、などとなりました。

災害別の被害の状況



注1: 表示単位未満は四捨五入をしているため、合計と内訳が一致しないことがあります。
注2: 過去10年平均のその他とは、融雪、落雷、雪崩、低温等であり、発生しない年もあります。

施設別の被害の状況



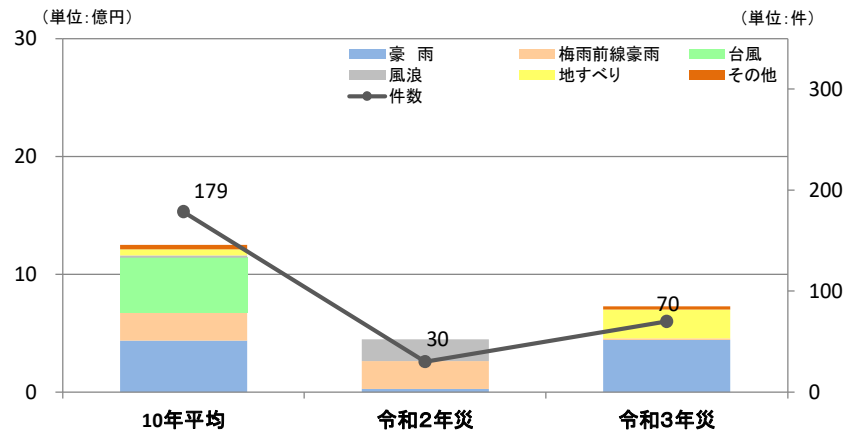
注1: 表示単位未満は四捨五入をしているため、合計と内訳が一致しないことがあります。
注2: 令和3年災のその他とは、都市施設、廃棄物処理事業、公立学校等です。

各県の状況

注：文中の過去とは、昭和50年以降です。

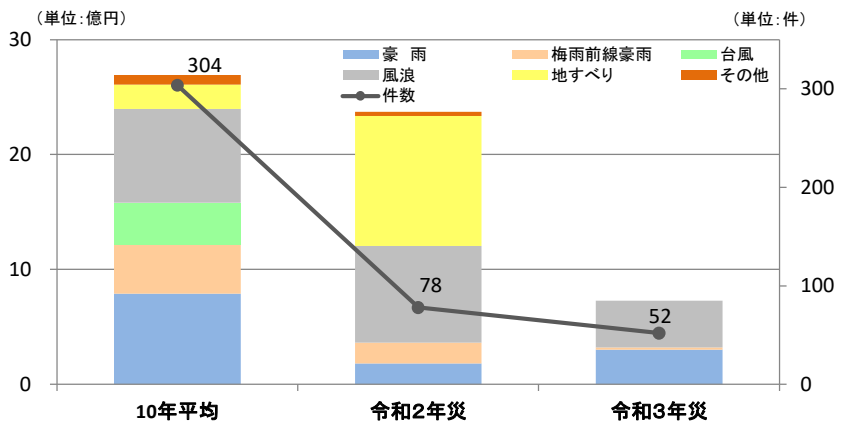
富山県

富山県内における災害復旧事業費は、8月に氷見市の道路が被災した豪雨や、2年7月から3年5月にかけて小矢部市の道路が被災した地すべりなどにより、7億3千万円(70件)となりました。
【県内では件数で過去3番目、金額で過去6番目の少なさ】



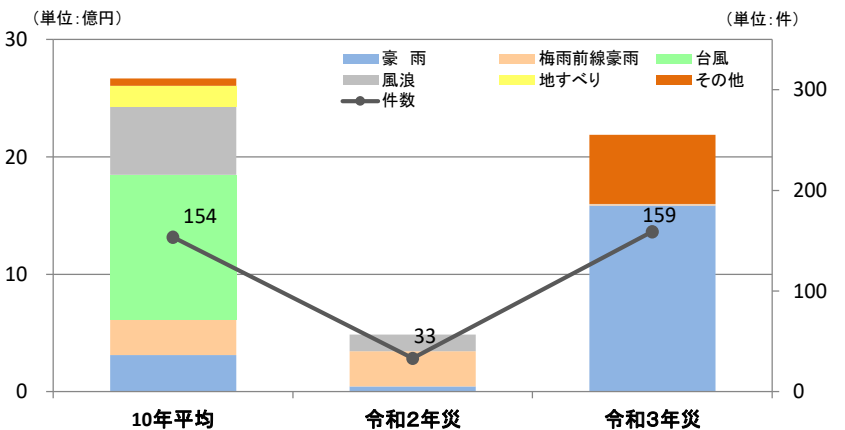
石川県

石川県内における災害復旧事業費は、1月に金沢市の港湾施設が被災した風浪や、8月に宝達志水町の農業用施設が被災した豪雨などにより、7億3千万円(52件)となりました。
【県内では件数で過去3番目、金額で過去2番目の少なさ】



福井県

福井県内における災害復旧事業費は、7月に福井市の河川が被災した豪雨や、3月に永平寺町の道路が被災した融雪などにより、21億9千万円(159件)となりました。
【県内では件数で過去18番目、金額で過去17番目の少なさ】



〔 参 考 〕

北陸3県の災害復旧事業費の推移

(単位: 件、億円)

区分	3県計		県 別 内 訳						主な被災原因	
			富山県		石川県		福井県			
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
過去 10 年 間	3年災	281	36.4	70	7.3	52	7.3	159	21.9	
	2年災	141	33.0	30	4.5	78	23.7	33	4.8	
	元年災	242	33.1	70	7.4	168	13.8	4	11.8	
	30年災	1,197	103.2	260	20.2	795	54.5	142	28.4	梅雨前線豪雨
	29年災	1,054	135.1	303	36.4	421	43.7	330	55.0	台風21号
	28年災	211	15.5	111	9.6	76	3.0	24	2.9	
	27年災	81	54.1	37	5.8	22	39.5	22	8.7	
	26年災	530	41.4	245	8.8	230	13.4	55	19.2	
	25年災	1,614	111.4	342	14.0	682	28.5	590	69.0	台風18号
	24年災	335	62.7	205	7.9	50	19.5	80	35.3	
	23年災	952	71.5	182	10.1	515	29.5	255	31.9	
	22年災	521	19.0	204	6.2	284	10.6	33	2.3	
	21年災	313	16.0	82	5.7	226	9.2	5	1.1	
	20年災	1,904	148.9	1,222	97.1	660	48.2	22	3.6	金沢市、南砺市豪雨
	19年災	2,935	368.0	207	6.5	2,695	356.2	33	5.3	能登半島地震
	18年災	1,711	119.6	305	19.4	962	60.3	444	39.8	梅雨前線豪雨
	17年災	1,738	86.6	681	28.0	904	46.9	153	11.7	
	16年災	4,290	538.2	772	68.6	553	66.3	2,965	403.3	福井豪雨
15年災	466	41.9	251	13.3	162	13.0	53	15.6		
14年災	1,789	133.9	530	25.8	1,014	60.1	243	48.0	梅雨前線豪雨	
13年災	902	100.6	371	32.5	394	54.4	137	13.7		
12年災	1,037	66.5	415	17.2	465	32.3	157	17.0		

注1: 表示単位未満は四捨五入をしているため、合計と内訳が一致しないことがあります。

注2: 件数の過去最少は平成27年、2番目は令和2年、3番目は平成28年、金額の過去最少は平成28年、2番目は平成21年、3番目は平成22年です。

北陸財務局は、台風や大雨などによって、県や市町村管理の道路や河川などの施設が被害を受けた場合、災害復旧に必要な事業費の決定に際し国土交通省や農林水産省等の担当官と共に現地に立会し、復旧事業費の決定を行っています。

これにより、県や市町村が災害復旧に必要な工事が早期に実施可能となるよう、財務省は迅速な予算措置を行っています。